



## 四季折々・各地の風景 東京・新宿のイルミネーション 星空にかえて夜を彩る

「智恵子は東京には空がないといふ」で有名な高村光太郎の智恵子抄。空気が澄んできた東京とは、いさ、きれいな星空はなかなか見えな。そんな星空のなを引くのがクリスマスに向けたイルミネーション。

ここはJR新宿駅南口、代々木方面へ向かって線路沿いに伸びる歩道。不況が

長引き、北風が吹く中で、心をホッとさせる風景だ。この時期、都内では大きなデパートやホテル、テーマパークが競うように華やかなイルミネーションで彩られる。所によっては少し騒々しい感じもするが、こんな「時世、華やかさがあってもいいのでは。風も冷たく、サイフも寒いとき、都内のイルミネーションめぐりなどで心をホッとさせるのも楽しい。都内では渋谷、台場、銀



座などが有名なスポット。いずれもクリスマスまでの期間限定なので、お見逃しのないよう。写真・文：東日本本部 社支部・萩原光典

# 東日本本部

〒163-1409  
新宿区西新宿3-20-2  
東京オペラシティ  
タワー9F  
(TEL)03-5352-1561  
(FAX)03-5352-1566

## 総対話の充実を / 東日本本部「支部全役員会議」 期 中 業 計 画 状況認識の共有が最大のポイント 事業構造の転換進め雇用の確保を

一月五日、東日本本部は都内のホテルで九九年第一回、支部全役員会議を開き、中期事業計画を取り組むにあたり、なぜ「事業構造の転換」が必要なのか、激変している情報通信の現状、NTTを取り巻く環境など、支部役員との間で現状認識を一致させることも、問題意識の共有化を図った。

東日本本部を代表して石原委員長は、「グループ全体が生き残り、かつ、かつ次への発展のため、三年かけて事業構造の転換を図る。そのためには、会社がどうするかだけでなく、労働組合が知恵と勇気を、音声通信からデータ通信主流への構造転換、コスト構造の転換、人件費、設備投資、物件費見直しの三点である。事業構造の転換は生き残りをはけた課題であり、何となくもやり遂げなければならぬ。環境は厳しいが、どんな状態ではない。少しでも余裕のあるうちに対策、対応が必要、二〇〇〇年春からは、企業間の業績格差は広がっているが、連合方針にそい、NTT労組も統一して闘う」と提起。

東日本本部・高橋副委員長から、「今秋年末は、なげ中期事業計画を取り組むのか、状況認識を共有化することが最大のポイントであり、明日からの総対話の目的はこの一点につき」と強調し、東日本本部の競争の現状と財務状況、中期事業計画に対する取り組みの進め方などを提起した。



活発な論議がされた支部全役員会議

東日本本社支部の分会全役員会議

質疑討論では、活発な論議がかわされたが、中央本部・津田委員長から「雇用確保が最優先課題であることは間違いない。また、構造転換を進める中で雇用確保であることを認識合わせたい」と発言があり、改めて「構造転換」の必要性を確保した。

その後、電気通信審議会会長代理を務める東京大学の斎藤教授から「通信サービスの変遷と二一世紀の通信ビジネスの展望をテーマに講演を受け、情報流通社会に向けたコストパフォーマンスの改善と競争力強化の必要性について認識を合わせた。最後に、二六日から始まる絶対対話活動の充実を誓い、会議を終了した。

質疑討論では、活発な論議がかわされたが、中央本部・津田委員長から「雇用確保が最優先課題であることは間違いない。また、構造転換を進める中で雇用確保であることを認識合わせたい」と発言があり、改めて「構造転換」の必要性を確保した。

その後、電気通信審議会会長代理を務める東京大学の斎藤教授から「通信サービスの変遷と二一世紀の通信ビジネスの展望をテーマに講演を受け、情報流通社会に向けたコストパフォーマンスの改善と競争力強化の必要性について認識を合わせた。最後に、二六日から始まる絶対対話活動の充実を誓い、会議を終了した。

## 東日本本部「ホームページ」Start <http://www.east-hq.ntt-union.or.jp/>



あなたと組合を  
結ぶ新しいルーツが  
誕生しました。  
アクセスして下さい。

## リアルタイムのコミュニケーションを

## NET 20 いきいき・フロンティア

秋田県湯沢市で毎年開催される「七夕絵灯籠まつり」は、浮世絵風の美人画を描いた大きな絵灯籠をつくる。その意匠を競うというもので二八〇年の伝統を誇っている。

その美人画を描いている一人が佐藤さんである。佐藤さんは、祖母も絵を描いていたこともあり、画集や材料などが家に豊富にあったことから、気がつくにつ

## 秋田県支部・設備部直轄分会 佐藤さん 日本文化紹介し友好大使に



「280年の伝統をもつ七夕絵灯籠まつり」

「賞状にレックリした。また、描いた絵灯籠をドイツで開催される「日本週間」に三年続けて送り、日本の文化を紹介し続け、デュッセルドルフ市長から感謝状と友好大使に任命された。

「賞状にレックリした。また、描いた絵灯籠をドイツで開催される「日本週間」に三年続けて送り、日本の文化を紹介し続け、デュッセルドルフ市長から感謝状と友好大使に任命された。

## 「絵灯籠」を描き続け15年

（秋田県支部 堀井弘文）